

「なかま」づくりを進めています

1学期も半ばを過ぎました。1学期のテーマは、「なかま」づくりです。連休前には、1年生お迎え集会をして、1年生をはじめ全校で楽しみました。各学級・学年でも「なかま」づくりを進めています。統合のメリットとして、子どもたちが一人でも多くの友だちをつくれるように支援していきます。



6年生が手をつないで入場



1年生にインタビュー

1年生お迎え集会



2年生から1年生へマントのプレゼント



全校で楽しいゲーム

人権を考える

～雨が降るから傘をさす～

「雨が降るから傘をさす」これは当たり前のことです。「傘をさすから雨が降る」ではありません。では、医者があるから病気があるのでしょうか。病気があるから、それを治したい医者があるのです。「平和、平和」と言うから戦争が起こるわけではありませんね。人権問題も同じです。「人権を守ろう!」という取組があるから人権侵害や差別が起きるわけではありません。人権侵害や差別の現実があるから、人権を守る取組や人権教育の営みがあるのです。

小学校では、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けての素地づくりに、児童の発達段階に応じて教育活動全体の中で取り組んでいます。

ありがとうございます

「藤野母親クラブ」様よりご寄付をいただきました。新和氣小学校の子どもたちのために役立てて欲しいとのことです。このお金は、5月連休の藤まつりにおいて、藤野母親クラブの方が手作りのお弁当を販売された収益金です。子どもたちを思ってくださいの温かいお心づかいに感謝申し上げます。

子どもたちのために有効に使わせていただきます。

目賀紀子氏より絵画を寄贈していただきました。

小学生をモデルにした「帰り道」と題した温かい雰囲気のある絵です。児童玄関に掲げています。



お知らせ

4月の学校だよりでは未定となっていたALTやふるさと教員を紹介します。

◇ALT→Russell Bautista先生

子どもたちは、ラッセル先生と呼んでいます。英語の授業だけでなく、朝は児童玄関で子どもたちを出迎えて英語であいさつしたり、休み時間には一緒に遊んだり、英語以外の授業にも入って、英語で話しかけながら一緒に活動してくれたりしています



◇ふるさと教員→森元 純一先生

ふるさと教員は、和氣町の特色ある教育活動を担っています。ふるさと和氣町の「ひと、もの、こと」を教材として、子どもたちがふるさと和氣町について学び、郷土を愛する心を育みます。また、社会教育において「子ども塾」などを企画・運営して、学校外で体験活動をととした子どもの学びの場を提供しています。子どもたちには、学校の学習だけでなく学校外においても、進んで学びを追求してほしいと思います。



お願い

6月24日(土)
家族開放参観日

児童引き渡し訓練の実施

今や災害はいつ、どこで発生するか分かりません。特に心配されるのが地震です。去年は、鳥取地震により和氣町でも強い揺れを感じました。先日、学校でも避難訓練を実施して「備えあれば憂いなし」と子どもたちに話をしたところです。和氣小になり児童数、家庭数が増えたため、いざという時にお子さんを確実に保護者の方に引き渡すためにもシミュレーションが必要です。是非、ご参加、ご協力をお願いします。



5月16日(火)
プール掃除

水泳学習に向けてプール掃除をしました。写真は6年生ですが掃除は全校で分担して実施しました。統合に向けて、プールも修繕をしてもらいとてもきれいになっています。子どもたちのがんばりでより一層きれいなプールになりました。



～心も体も元気で帰る 勉強も友だちもわかり合って帰る～

